

# 新住園泉

令和5年度【第3号】  
2023年6月1日発行  
八頭町役場商工観光室  
(0858-72-0144)



Instagram  
yazu\_life  
更新中

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

【おしらせ】 隊員数増加に伴い、令和5年度第3号（今号）より紙面構成を変更し、各月隊員3～4名の掲載として紙面の充実を図ります。ご理解のほどよろしくお願いたします。

## 遠見山登山道整備

隊員としてはじめての地域の方々との交流は、春の遠見山登山のイベントに向けた登山道整備でした。一緒に登っていただくのは馬酔木 あせびの会の皆さん。当日の朝、チェンソーや鍬を持って登ると聞き、改めて大変さを実感しました。

山は聞いていた通り斜面はきつく、道には枝や倒木がいたるところに落ちています。また、雪の影響で狭くなった道が多かったです。はじめはうまく進めなかったのですが、登る時のコツを教えていただきました。歩くときは一定のリズムで、休憩もこまめに無理なく登ること。当たり前のようですが、それはまるで、入生の歩き方「なのでは」と思いながら一歩一歩踏み始めました。

作業時は、その都度立ち止まり木を切る人とかかす人に分かれての分担作業。みなさん毎年のことでしたので連携がすごかったです。

合い間合い間に見えるアセビやイワカガミ、展望台がある7合目では曇りでしたが八頭町を一望でき、景色のきれいさ、登ってきた達成感も相まってとても感動し、登山の醍醐味を感じることができました。

その後は頂上で休憩し下山。疲労もありましたが、下りも同様丁寧に整備をしました。

不慣れなこともありましたがみなさん優しく声をかけていただき無事に下山することができました。馬酔木の会の皆様ありがとうございました。

その他、4月の「ふなおか竹林まつり」、5月の「安徳の里・姫路公園まつり」等の準備から後始末までのスタッフとしても関わり、裏方の苦労についても学びました。今後も、町内の様々なイベントに参加協力していきたいと思っておりますので、お会いしましたらその時はよろしくお願いたします。

岡田悠作



遠見山からの眺望



倒木の処理

## 牛の放牧がはじまりました！

毎日の夕方のみ、24頭の成牛と12頭の子牛の餌やりのお手伝いしています。そして先月

5月から放牧が始まりました。放牧ができるようになるのと、牛たちにとっては良い環境であり、自分のことのようにうれしいです。どうやら私を覚えてくれており、きちんと順序を守って餌を食べるために牛舎に戻ってきます。私が見ている限り、牛たちは温和な性格を持っています。序列関係が厳しく、厳しい群れ社会と感じられます（牛社会もなかなか大変です）。

かつての里山の暮らしでは、人々と家畜が共存し、自然も豊かに守られていた話をよく伺います。その価値観を大切に



“だるまさんがころんだ”

し、今後も里山の暮らしを守り抜いていきたいという思いがひしひしと伝わります。

また、餌やりが慣れてきた頃ですが、白ネギの定植が始まりました。植溝づくりですが、真すぐのつもりでも曲がってしまいコツを掴むまでは時間がかかりそうですが、2年目も前向きに笑顔と感謝を忘れず邁進してまいります。

真柳加奈子

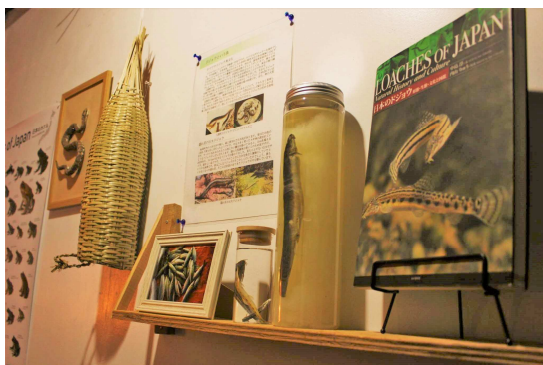


白ネギの定植

## 古民家博物館

八頭町で活動をはじめてから半年が経ちました。活動を通して色々な場所を回っているうちに、面白いものを見聞きするようになりました。ため池跡地に生える食虫植物モウセンゴケ、20 叩を超える巨大ドジョウが棲む隠れ沼。そんなドジョウを昔捕っていた漁法や漁具、食べ方の話。生き物やそれを取り巻く文化、私はそういうものを収集するのが大好きです。4月頃には今まで集めてきた生き物や標本、資料がかなりの量に。ただ集めるだけでは勿体ないと思い、住んでいる古民家の中に少しずつ展示スペースを作り始めました。まだまだ作りかけですが、標本や資料、水槽などを並べ、関わってくれる学生たちに見せたりしています。展示に私室が組み込まれていますという致命的な欠陥はありますが、いずれは古民家博物館みたいにして、サイエンスカフェなどのイベントに活用していきたいところです。

小宮春平



博物館化しつつある家



### ○担当課より

・地域おこし協力隊員全7名が町内のあらゆる場所で様々な活動をしていますので、見かけられましたら励ましの言葉等をかけていただくと幸いです。（植田）

### ○協力隊からのお知らせ

・Instagram【 yazu\_life 】で八頭の魅力を発信しています！（表紙QRコード）。

八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。